

オオホソコバネカミキリ *Necydalis solida* Bates

【選定理由】

自然度の高い森林中に生息するカミキリムシで、県内では豊田市（旧稲武町）のみから知られる。他府県にくらべ生息基盤が脆弱である。

【形態】

体長 11.5～30mm。頭部と胸部は黒色、上翅は黄褐色だが、オスでは基半部を除き黒色となることも少なくない。脚は黄褐色で、後腿節基半部は黒色となる。

【分布の概要】

【県内の分布】

県内では豊田市（旧稲武町）（竹内, 1983）から確認されているだけであるが、未公表ながら設楽町のような原生林からも生息情報が得られている。

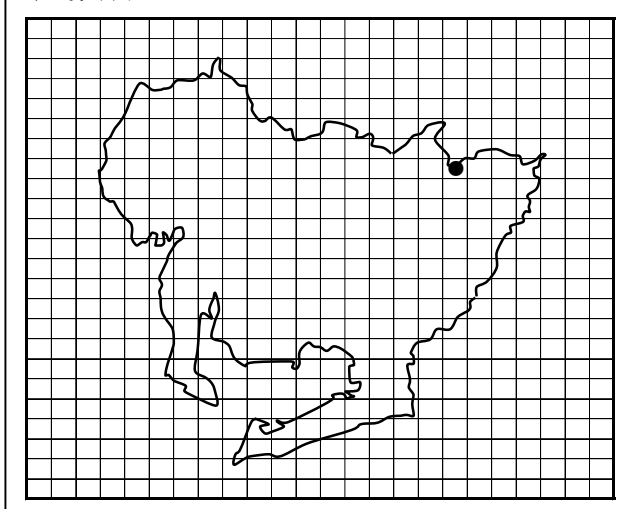
【国内の分布】

本州、四国、九州に分布する。

【世界の分布】

日本の特産種である。

県内分布図



【生息地の環境／生態的特性】

ブナ林に生息する。成虫は7～8月に出現し、ブナの立ち枯れに集まる。幼虫もブナの立ち枯れ材を食べる。

【現在の生息状況／減少の要因】

本種はホソコバネカミキリ類の中では比較的優占な種の部類に入るが、西日本での分布は稀薄となり、県内では確認が極めて困難な種である。本種が初めて発見されて以来、追加の生息情報はわずかで、個体数はかなり少ないものと考えられる。過去にさかのぼれば、ブナ原生林の面積減少の影響を受けていることは容易に想像される。

【保全上の留意点】

生息域であるブナ林の面積をこれ以上減少させないことが必要である。現在の原生林の環境を守るため、特に原生林に接する道路では、林縁部の過度な伐採は、林内への悪影響をもたらす危険性が高く、慎重な配慮が必要である。また原生林内または、周辺の枯死木は、本種を初め色々な昆虫類の発生源となるので、特に危険がないかぎり切り倒したり、除去したりしない配慮が必要である。

【引用文献】

竹内克豊, 1983. 愛知県奥三河産カミキリムシ数種. 月刊むし, (154): 8.

【関連文献】

佐藤正孝ほか, 1990. 愛知県の甲虫. 愛知県の昆虫, (上): 200-477. 愛知県.

(長谷川道明・蟹江 昇・戸田尚希)